セミの抜け殻調査報告書2010

調査者（団体）名：　個人（NACSJ兵庫連絡会）　　担当：　品 川 正 法

連 絡 先 ：

調査実施場所：　関西学院上ヶ原キャンパス内庭園の一部
住所：　兵庫県西宮市上ヶ原1番町1
ホームページ：

調査場所の環境：

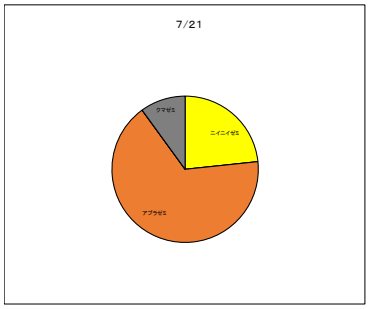
	クリックして選択	
周辺の環境	平地	
調査場所の様子	その他（	学園内の公園
調査場所の地面	土が露出	一部にオカメザサ

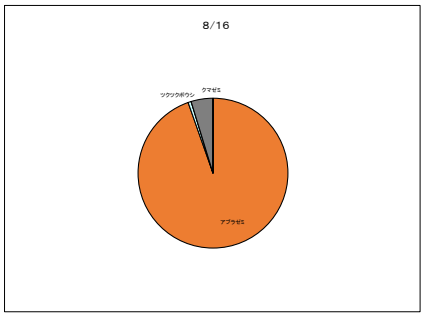
主な植生：ソメイヨシノ(桜)10、ウバメガシ6、サザンカ9、ヒラドツツジ9ほか生垣としてサザンカ、カナメモ　チが数十本及びごく一部にオカメザサの植生

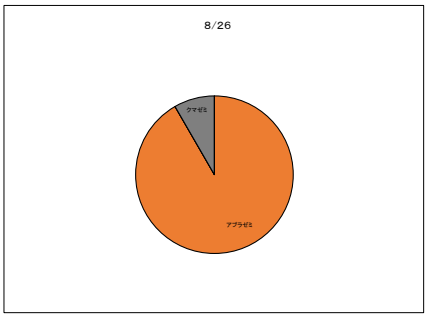
調査結果：　部分は自動計算されますので入力しないでください。　　ニイニイゼミの♂♀鑑別は不要（任意で入力できます）

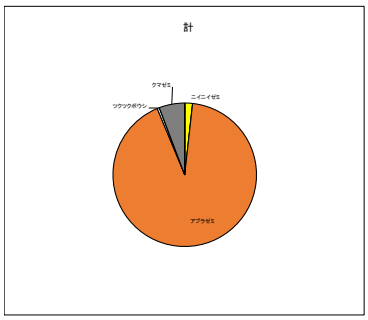
調査日	7/21					8/16					8/26					計			
調査時間	15　：30　～ 16　：30					15：30～16：30					15　：30　～16　：30								
調査参加人数	1					1					1								
天気	晴					晴					晴								
	声	♂	♀	不明	計	声	♂	♀	不明	計	声	♂	♀	不明	計	♂	♀	不明	計
ニイニイゼミ	○	2	5		7	○				0	○				0	2	5	0	7
ミンミンゼミ					0		0			0		0			0	0	0	0	0
アブラゼミ	○	19	1		20	○	128	153		281	○	40	26		66	187	180	0	367
ツクツクボウシ	○				0	○	1	1		2	○		0		0	1	1	0	2
ヒグラシ					0					0					0	0	0	0	0
クマゼミ		2	1		3	○	10	4		14			6		6	12	11	0	23
					0					0					0	0	0	0	0
					0					0					0	0	0	0	0
不明					0					0					0	0	0	0	0
計		23	7	0	30		139	158	0	297		40	32	0	72	202	197	0	399

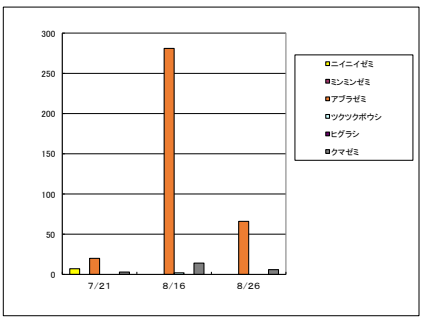
気づいたこと・感想など：ミンミンゼミについては、次の理由から「？」にしたいと考えます。①私のフィールドは古くから存在する学園であり、私の子供時代から、ミンミンについては捕獲、鳴き声ともに実績がないこと　②フィールド全体は、私の自宅を含めて、標高300m程度の甲山と、その裾野にある丘陵地帯に接しており、鳴き声は今シーズンを含め、時々聞こえているため、その存在を否定しきれないこと　③今年のアブラゼミの抜け殻は、例年に比べて小形のものが多いこと　等です
（市民ネットでの再見の結果、ミンミンゼミの抜け殻はありませんでした。）

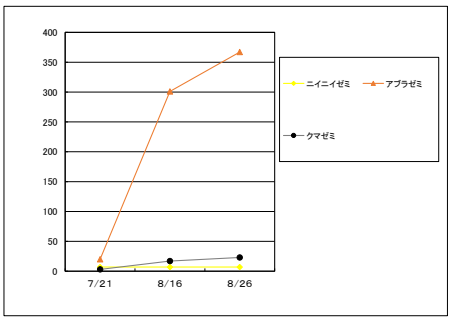












セミの抜け殻調査報告書2011

調査者（団体）名：　個人（NACSJ兵庫連絡会）　　担当：　品 川 正 法

連 絡 先 ：

調査実施場所：　関西学院上ヶ原キャンパス内庭園の一部
住所：　兵庫県西宮市上ヶ原1番町1
ホームページ：

調査場所の環境：

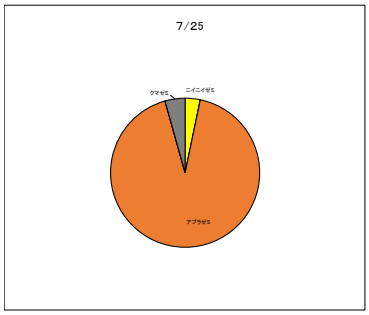
	クリックして選択	
周辺の環境	平地	
調査場所の様子	その他（	学園内の公園
調査場所の地面	土が露出	一部にオカメザサ

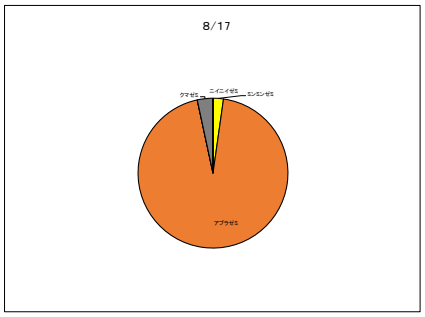
主な植生：ソメイヨシノ(桜)10、ウバメガシ6、サザンカ9、ヒラドツツジ9ほか生垣としてサザンカ、カナメモ　チが数十本及びごく一部にオカメザサの植生

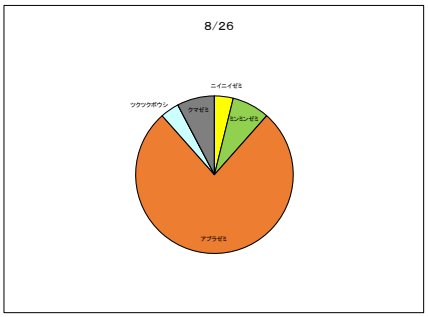
調査結果：　■部分は自動計算されますので入力しないでください。　■ニイニイゼミの♂♀鑑別は不要（任意で入力できます）

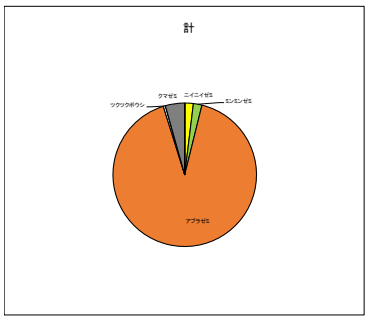
調査日	7/25					8/17					8/26					計			
調査時間	15 ： 30 ～ 16 ：30					15：30～16：30					15 ：30 ～16 ： 30								
調査参加人数	1					1					1								
天気	晴					晴					晴								
	声	♂	♀	不明	計	声	♂	♀	不明	計	声	♂	♀	不明	計	♂	♀	不明	計
ニイニイゼミ	○	2	1		3	○				0	○	1			1	3	1	0	4
ミンミンゼミ					0		2			2	○	2			2	4	0	0	4
アブラゼミ	○	71	14		85	○	40	44		84	○	11	9		20	122	67	0	189
ツクツクボウシ	○				0					0	○	1			1	1	0	0	1
ヒグラシ					0	○				0					0	0	0	0	0
クマゼミ		3	1		4		1	2		3			2		2	4	5	0	9
					0					0					0	0	0	0	0
					0					0					0	0	0	0	0
不明					0					0					0	0	0	0	0
計		76	16	0	92		43	46	0	89		15	11	0	26	134	73	0	207

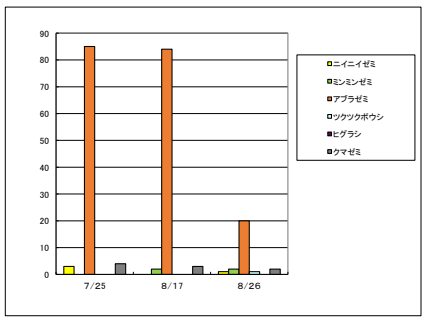
気づいたこと・8月17日の調査時点での気付きについて①15日と16日を境としてアブラゼミ、クマゼミともに鳴き声が激減した。 ②調査当日落ちているセミの死骸をチェックしたところ、クマゼミの♂12、♀2、アブラゼミの♂3、♀1であった。③地面で発見できる抜け穴の数から推計して、実際の羽化数は、当日までに採集できた全抜け殻数の2～3倍に相当する数であった。

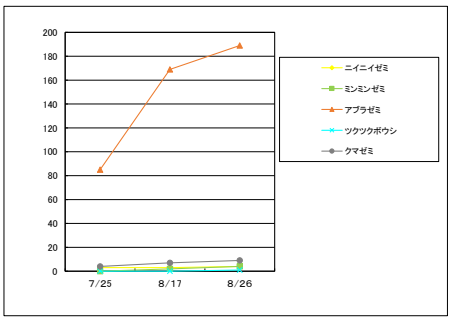












セミの抜け殻調査報告書2012

部分を入力　　ニイニイゼミの♂♀識別は不要（任意で入力できます）　　プルダウンから選択　　部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

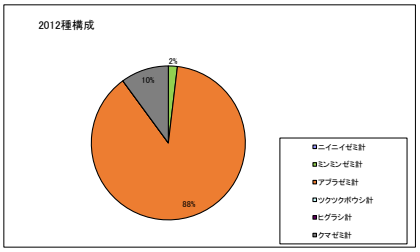
列や行は削除はしないでください。

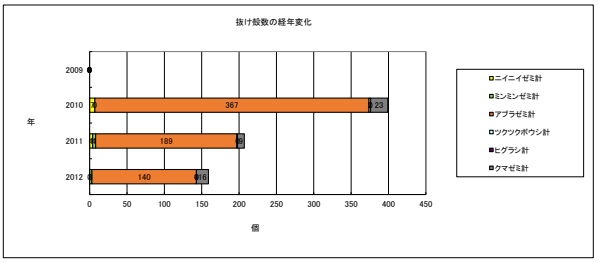
年度	2012
都道府県名	兵庫県
調査地名	西宮市上ヶ原1番町1
サイト名	関西学院上ヶ原キャンパス内公園
周辺の環境	平地
調査場所の様子	その他（　　）
調査場所の地面	土が露出
主担当者	品川正法
再検者	

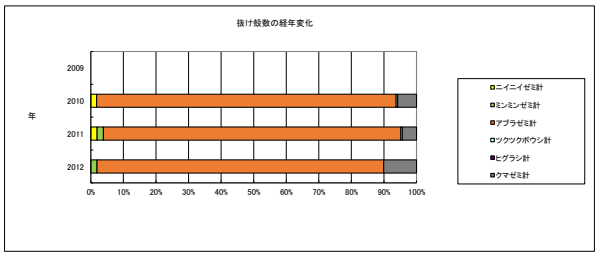
主担当者連絡先	
住所	
電話番号	
E-mail	-

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	ニイニイゼミ
調査地の主な樹木	桜（ソメイヨシノ）、サザンカ、
調査地関連HP	
調査参加者数	大人　1　　中学生　　小学生　　幼児

種	♂♀	7/25	8/15	8/27	計
ニイニイゼミ	不明	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	0	1	1
ミンミンゼミ	♀	0	0	2	2
ミンミンゼミ	計	0	0	3	3
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	41	22	25	88
アブラゼミ	♀	6	16	30	52
アブラゼミ	計	47	38	55	140
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	2	1	2	5
クマゼミ	♀	3	5	3	11
クマゼミ	計	5	6	5	16
（自由入力）	不明	0	0	0	0
（自由入力）	♂	0	0	0	0
（自由入力）	♀	0	0	0	0
（自由入力）	計	0	0	0	0
	合計	52	44	63	159







	2012	2011	2010	2009
ニイニイゼミ計	0	4	7	0
ミンミンゼミ計	3	4	0	0
アブラゼミ計	140	189	367	0
ツクツクボウシ計	0	1	2	0
ヒグラシ計	0	0	0	0
クマゼミ計	16	9	23	0
（自由入力）	0	0	0	0
総計	159	207	399	0

総計に自由入力は含まれていません
自由入力に入力した場合には
グラフのデータ範囲を修正してください。

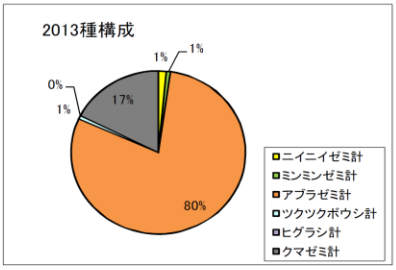
ツクツクの初鳴きが7・25で、例年より2週早かった。
クマ♀の姿初見参7・02　ニイニイの初鳴き7・02で、2週遅い。
クマの初鳴きアブラより早く逆転したが、時期は例年並み。
アブラの初鳴きご7．14で、例年より2週遅かった。
8月下旬に入りツクツクの鳴き声が際立ち、他のセミはいずれもか細く僅かになった。

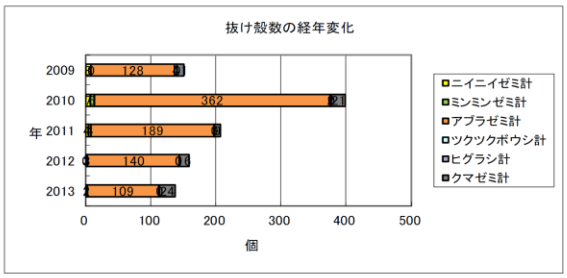
セミの抜け殻調査報告書2013

年度	2013
都道府県名	兵庫県
調査地名	西宮市上ヶ原1番町1
サイト名	関西学院上ヶ原キャンパス内日本庭園
周辺の環境	平地
調査場所の様子	その他（　　）
調査場所の地面	土が露出
主担当者	品川正法
再検者	

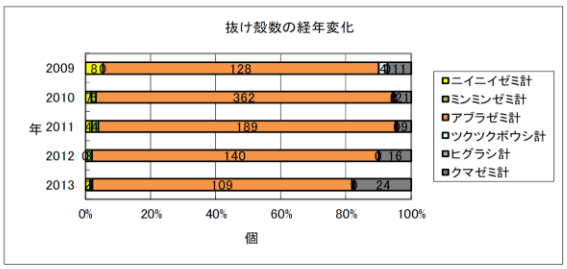
調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	1回目はニイニイ
調査地の主な樹木	桜（ソメイヨシノ）、サザンカ、イロハモミジ
調査地関連HP	
調査参加者数	大人　1　　中学生　　小学生　　幼児

種	♂♀	7/25	8/15	8/25	計
ニイニイゼミ	不明	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	2	0	2
ニイニイゼミ	計	0	2	0	2
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	1	0	1
ミンミンゼミ	計	0	1	0	1
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	39	26	10	75
アブラゼミ	♀	9	20	5	34
アブラゼミ	計	48	46	15	109
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	1	1
ツクツクボウシ	計	0	0	1	1
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	6	0	1	7
クマゼミ	♀	11	3	3	17
クマゼミ	計	17	3	4	24
（自由入力）	不明	0	0	0	0
（自由入力）	♂	0	0	0	0
（自由入力）	♀	0	0	0	0
（自由入力）	計	0	0	0	0
	合計	65	52	20	137





	2013	2012	2011	2010	2009
ニイニイゼミ計	2	0	4	7	8
ミンミンゼミ計	1	3	4	6	0
アブラゼミ計	109	140	189	362	128
ツクツクボウシ計	1	0	1	2	4
ヒグラシ計	0	0	0	0	0
クマゼミ計	24	16	9	21	11
（自由入力）	0	0	0	0	0
総計	137	159	207	398	151



コメント：（改行：ALT+ENTER）
＊　今年はセミの全ての種類を通じて鳴き始めが1～2週間遅かった。
＊　例年はミンミンゼミ、ヒグラシの2種の声も聞こえるが、今年は聞いていない。
＊　その他の昆虫では、ウスバキトンボの渡りが5日遅く、シオカラトンボ、ギンヤンマ、モンシロチョウ、ヒ
メアカタテハ、ツマグロヒョウモン、セグロアシナガバチを除く殆どの蜂類等は稀に見るだけです。
＊　ツクツクボウシの鳴き始めは、8月5日でした。
＊なお、最近5年間鳥類のうち、ウグイスが藪から出て、電線にとまって囀るという異変が生じており、他
の地域では如何でしょうか。

分析者（小久保）コメント
2011年からの3年間アブラゼミが減少してクマゼミが増加している。またニイニイゼミ、ミンミンゼミが

セミの抜け殻調査報告書2014

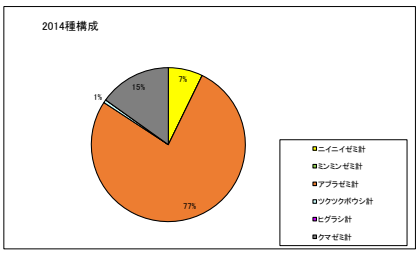
部分を入力　　ニイニイゼミの♂♀識別は不要（任意で入力できます）　　プルダウンから選択　　部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

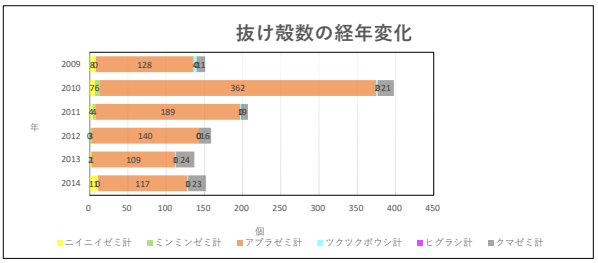
列や行は削除はしないでください。

年度	2014
都道府県名	兵庫県
調査地名	西宮市上ヶ原1番町1
サイト名	関西学院上ヶ原キャンパス内日本庭園
周辺の環境	平地
調査場所の様子	その他（　　）
調査場所の地面	土が露出
主担当者	品川正法
再検者	

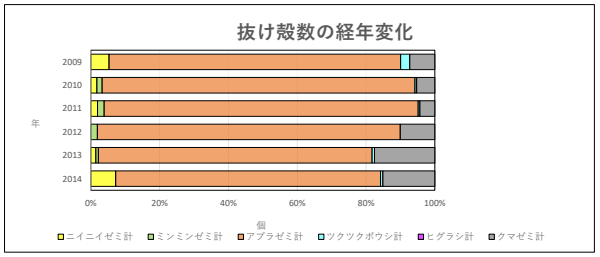
調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	ヒグラシ、ミンミン
調査地の主な樹木	サクラ、サザンカ、その他公園樹木多数
調査地関連HP	
調査参加者数	大人　1　　中学生　　小学生　　幼児

種	♂♀	7/25	8/5	8/15	計
ニイニイゼミ	不明	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♂	2	2	1	5
ニイニイゼミ	♀	3	2	1	6
ニイニイゼミ	計	5	4	2	11
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0
ミンミンゼミ	計	0	0	0	0
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	25	22	17	64
アブラゼミ	♀	7	36	10	53
アブラゼミ	計	32	58	27	117
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	1	0	0	1
ツクツクボウシ	計	1	0	0	1
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	5	4	2	11
クマゼミ	♀	5	4	3	12
クマゼミ	計	10	8	5	23
（自由入力）	不明	0	0	0	0
（自由入力）	♂	0	0	0	0
（自由入力）	♀	0	0	0	0
（自由入力）	計	0	0	0	0
	合計	48	70	34	152





	2014	2013	2012	2011	2010	2009
ニイニイゼミ計	11	2	0	4	7	8
ミンミンゼミ計	0	1	3	4	6	0
アブラゼミ計	117	109	140	189	362	128
ツクツクボウシ計	1	1	0	1	2	4
ヒグラシ計	0	0	0	0	0	0
クマゼミ計	23	24	16	9	21	11
（自由入力）	0	0	0	0	0	0
総計	152	137	159	207	398	151



コメント：(改行：ALT+ENTER)
　14年度の初鳴き日
　ニイニイ　　6月5日、 クマ　　7月15日、　アブラ　　7月18日、　　ツクツク　　8月5日

　今年は、全体として天候不順で、雨が多く、気温がひくめであった。 また、8月10日に台風11号が通過し、その前後数日はかなり強風が吹いたため、セミの抜け殻数に影響があったと思われます。

セミの抜け殻調査報告書2015

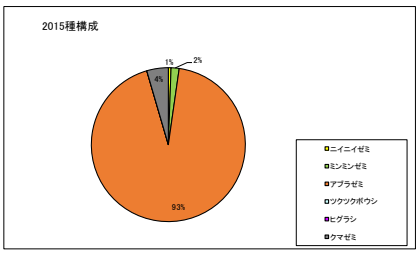
部分を入力　　ニイニイゼミの♂♀識別は不要（任意で入力できます）　　プルダウンから選択　　部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

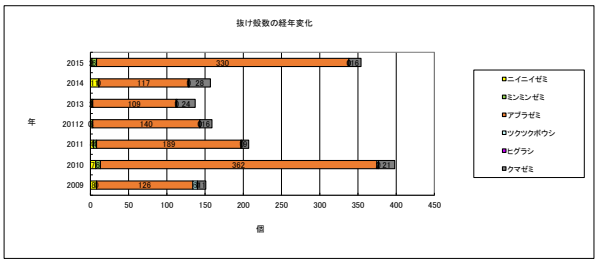
列や行は削除はしないでください。

年度	2015
都道府県名	兵庫県
調査地名	西宮市上ヶ原１番町
サイト名	関西学院上ヶ原キャンパス内日本庭園
周辺の環境	里・丘陵
調査場所の様子	その他（　　）
調査場所の地面	下草・落ち葉がまばら
主担当者	品川正法
再検者	なし

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	ヒグラシ、ミンミンゼミ、ツクツクボウシ
調査地の主な樹木	ソメイヨシノ、カナメモチ、サザンカ、マツ他
調査地関連HP	
調査参加者数	大人　1　中学生　小学生　幼児

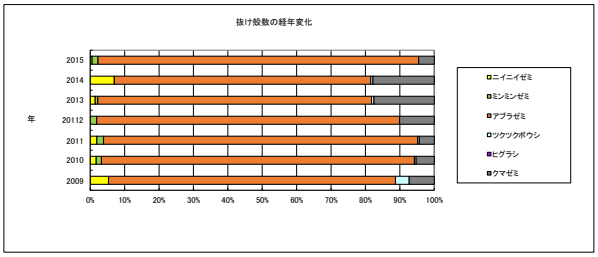
種	♂♀	7/25	8/15	8/25	計
ニイニイゼミ	不明	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♂	1	0	0	1
ニイニイゼミ	♀	1	0	0	1
ニイニイゼミ	計	2	0	0	2
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	4	0	4
ミンミンゼミ	♀	0	2	0	2
ミンミンゼミ	計	0	6	0	6
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	48	58	9	115
アブラゼミ	♀	160	48	7	215
アブラゼミ	計	208	106	16	330
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	5	2	1	8
クマゼミ	♀	3	4	1	8
クマゼミ	計	8	6	2	16
（自由入力）	不明	0	0	0	0
（自由入力）	♂	0	0	0	0
（自由入力）	♀	0	0	0	0
（自由入力）	計	0	0	0	0
	合計	218	118	18	354





集計表

	2009	2010	2011	20112	2013	2014	2015
ニイニイゼミ	8	7	4	0	2	11	2
ミンミンゼミ	0	6	4	3	1	0	6
アブラゼミ	126	362	189	140	109	117	330
ツクツクボウシ	6	2	1	0	1	1	0
ヒグラシ	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	11	21	9	16	24	28	16
（自由入力）	0	0	0	0	0	0	0
総計	151	398	207	159	137	157	354



コメント：(改行：ALT+ENTER)

「調査場所の様子」覧にその他（　）を選択し、（）内に「学園内公園」の文字を入力しましたが、入力を拒否されました。

また、「周辺の環境」を「里、丘陵」としておりますが、サイトの西３００メートルから古くからの浄水場に続く森林公園が存在しております。

なお、５月には森林公園の中で春ゼミが鳴いております。

セミの抜け殻調査報告書2016

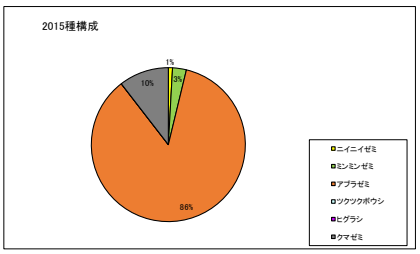
部分を入力　　ニイニイゼミの♂♀識別は不要（任意で入力できます）　　プルダウンから選択　　部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

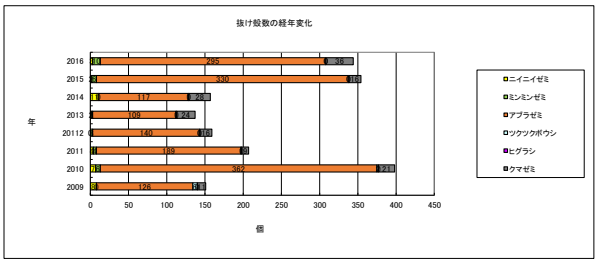
列や行は削除はしないでください。

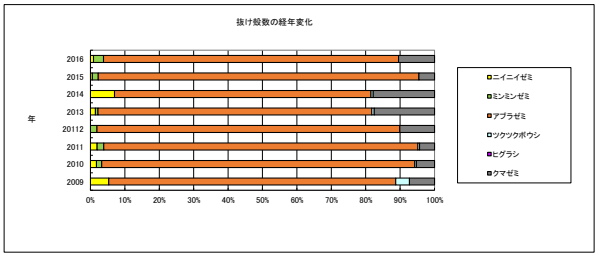
年度	2016
都道府県名	兵庫県
調査地名	西宮市上ヶ原関西学院上ヶ原キャンパス
サイト名	キャンパス内日本庭園
周辺の環境	平地
調査場所の様子	その他（　　）
調査場所の地面	土が露出
主担当者	品川
再検者	無し

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	ミンミン、ヒグラシ、ニイニイ、ツクツク
調査地の主な樹木	ソメイヨシノ、黒松、サザンカ他
調査地関連HP	
調査参加者数	大人　1　　中学生　　小学生　　幼児

種	♂♀	7/25	8/5	8/25	計
ニイニイゼミ	不明	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♂	2	0	0	2
ニイニイゼミ	♀	1	0	0	1
ニイニイゼミ	計	3	0	0	3
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	2	4	6
ミンミンゼミ	♀	0	3	1	4
ミンミンゼミ	計	0	5	5	10
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	72	67	30	169
アブラゼミ	♀	48	55	23	126
アブラゼミ	計	120	122	53	295
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	6	5	3	14
クマゼミ	♀	8	8	6	22
クマゼミ	計	14	13	9	36
（自由入力）	不明	0	0	0	0
（自由入力）	♂	0	0	0	0
（自由入力）	♀	0	0	0	0
（自由入力）	計	0	0	0	0
	合計	137	140	67	344







集計表

	2009	2010	2011	20112	2013	2014	2015	2016
ニイニイゼミ	8	7	4	0	2	11	2	3
ミンミンゼミ	0	6	4	3	1	0	6	10
アブラゼミ	126	362	189	140	109	117	330	295
ツクツクボウシ	6	2	1	0	1	1	0	0
ヒグラシ	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	11	21	9	16	24	28	16	36
（自由入力）	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	151	398	207	159	137	157	354	344

コメント：（改行：ALT+ENTER）　昨年、アブラゼミが急増した理由を問われましたが、気付きあるいは推測でき　る根拠がありませんでしたので、ノーコメントでしたが、今年の状況、、近くに住む方が子供（少年時代）の時「熊本に住んでいたがクマゼミの声はあまり聞かなかった」等の証言などから類推し、現今、温暖化によるクマゼミの北上が取りざたされているが、一定以上気温が上昇するとクマゼミも減少し、高温に強いアブラゼミが、その生存圏を拡大しているのではないかと推測しております。　なお、これらの事を確かめるためには、今少しの時間と調査が必要です。

セミの抜け殻調査報告書2017

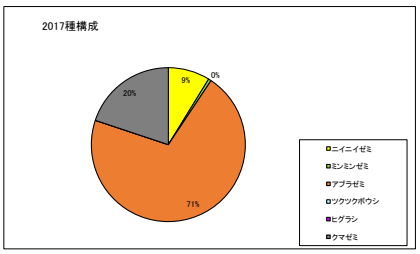
部分を入力　　ニイニイゼミの♂♀識別は不要（任意で入力できます）　　プルダウンから選択　　部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

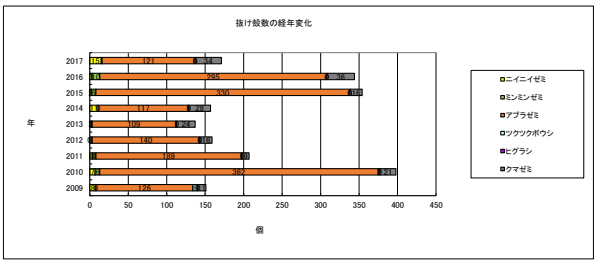
列や行は削除はしないでください。

年度	2017
都道府県名	兵庫県
調査地名	兵庫県西宮市上ヶ原1番町１
サイト名	関西学院上ヶ原キャンパス内日本庭園
周辺の環境	平地
調査場所の様子	自然公園・保存緑地
調査場所の地面	土が露出
主担当者	品川正法
再検者	なし

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	
調査地の主な樹木	ソメイヨシノ、カナメ、サザンカ、ヒマラヤシーダー
調査地関連HP	
調査参加者数	大人　1　中学生　小学生　幼児

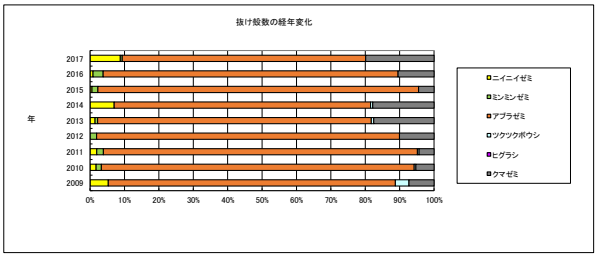
種	♂♀	7/25	8/5	8/15	計
ニイニイゼミ	不明	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♂	9	1	1	11
ニイニイゼミ	♀	4	0	0	4
ニイニイゼミ	計	13	1	1	15
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	1	0	1
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0
ミンミンゼミ	計	0	1	0	1
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	34	23	6	63
アブラゼミ	♀	11	31	16	58
アブラゼミ	計	45	54	22	121
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	15	3	0	18
クマゼミ	♀	9	6	1	16
クマゼミ	計	24	9	1	34
（自由入力）	不明	0	0	0	0
（自由入力）	♂	0	0	0	0
（自由入力）	♀	0	0	0	0
（自由入力）	計	0	0	0	0
	合計	82	65	24	171





集計表

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
ニイニイゼミ	8	7	4	0	2	11	2	3	15
ミンミンゼミ	0	6	4	3	1	0	6	10	1
アブラゼミ	126	362	189	140	109	117	330	295	121
ツクツクボウシ	6	2	1	0	1	1	0	0	0
ヒグラシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	11	21	9	16	24	28	16	36	34
（自由入力）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	151	398	207	159	137	157	354	344	171



コメント：（改行：ALT+ENTER）　今年度は最近にない曇天、雨天等お天気が悪く、湿気が多い。　このためか否は未だ不明であるが、過去に比してニイニイゼミの羽化位置が高い（例年：地上30㎝程度、今年度：50～100㎝）及び、数も多い？　また、クマゼミの羽化数（発生数）が、この調査を始めたH9年の2～3年以前（H6～7年）以来、最も多い。ただし以前は自宅のオオシマザクラの枝という枝に、びっしりと留っているほど多かったが、今年は昨年の2～3倍（鳴き声からの推測）である。　また、少し温度の低い生存域に発生していると思われるミンミン、ヒグラシの鳴き声が、自宅及び調査地はもちろん、近くの森林公園でも聞かれない。　昨年は、アブラゼミの数値アップの理由を推測せよとのことであったが、未だコメントできるほどのことは観察できてない。　なお、古い話ではあるが、1960年頃（私が金沢大学理学部生物学科在学中）金沢市内城跡（当時は金沢大学敷地内）では、日中はミンミン、15時頃からはヒグラシの声が、他の物音を圧するほどであったが、1980年頃になると、ミンミンの声は全くなく、もちろんクマゼミの声もなく、ただヒグラシだけであった。また、最近の伝聞として、50代半ばの方からの話では、少年時代には熊本市内ではクマゼミの生存は確認しているが、それほど多くはなかった、とのことでした。

セミの地方名

ニイニイゼミ	チイチイ	鳴き声から
ミンミンゼミ	同左	同上
アブラゼミ	同左	同上
ツクツクボウシ	同左	同上
ヒグラシ	カナカナ	鳴き声から
クマゼミ	カタビラ	姿を帷子とした

今年のツクツクの初鳴きは8月12日で例年より1週間遅い。

セミの抜け殻調査報告書2018

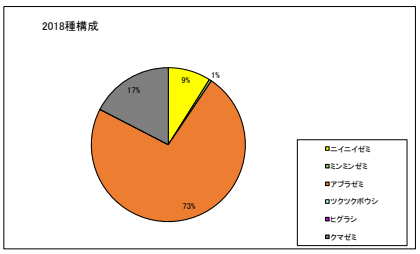
■部分を入力　■ニイニイゼミの♂♀識別は不要（任意で入力できます）　■プルダウンから選択　■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

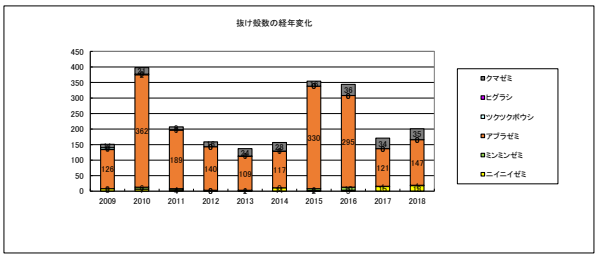
列や行は削除はしないでください。

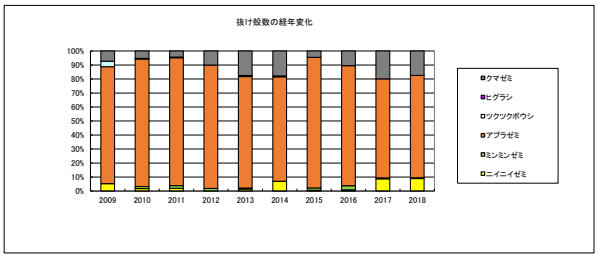
年度	2018
都道府県名	兵庫県
調査地名	西宮市上ヶ原１番町１
サイト名	関西学院大学上ヶ原キャンパス内日本庭園
周辺の環境	平地
調査場所の様子	その他（　　）
調査場所の地面	下草・落ち葉がまばら
主担当者	品川正法
再検者	同上

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	ツクツクボウシ、ミンミンゼミ、ヒグラシ
調査地の主な樹木	ソメイヨシノ、サザンカ、カナメ他
調査地関連HP	
調査参加者数	大人１名

種	♂♀	7/25	8/5	8/15	計
ニイニイゼミ	不明	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♂	7	1	1	9
ニイニイゼミ	♀	6	2	1	9
ニイニイゼミ	計	13	3	2	18
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	1	0	0	1
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0
ミンミンゼミ	計	1	0	0	1
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	34	25	17	76
アブラゼミ	♀	18	39	14	71
アブラゼミ	計	52	64	31	147
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	0	0	0	0
ヒグラシ	計	0	0	0	0
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	10	5	1	16
クマゼミ	♀	12	5	2	19
クマゼミ	計	22	10	3	35
（自由入力）	不明	0	0	0	0
（自由入力）	♂	0	0	0	0
（自由入力）	♀	0	0	0	0
（自由入力）	計	0	0	0	0
	合計	88	77	36	201







集計表

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
ニイニイゼミ	8	7	4	0	2	11	2	3	15	18
ミンミンゼミ	0	6	4	3	1	0	6	10	1	1
アブラゼミ	126	362	189	140	109	117	330	295	121	147
ツクツクボウシ	6	2	1	0	1	1	0	0	0	0
ヒグラシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ	11	21	9	16	24	28	16	36	34	35
（自由入力）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	151	398	207	159	137	157	354	344	171	201

コメント：（改行：ALT+ENTER）　６月中は雨が多かったためか、ニイニイゼミの羽化位置が、例年は地上から２～３０cm程度までの高さに止まっていたものが、今年に限り（私の子供時代から通じて）1メートル程度の高さになっていたことが特に注意をひいた。　なお、小久保様の仮説（アブラゼミの羽化時間）については、私の生涯経験（子供時代の５才頃から小学校5年生及び息子たちの同年代）からすると、ニイニイ、アブラではしばしば見受けられる現象であり、、仮説を立てるのは、更なる観察とデータの収集が必要ではないかと思料いたします。

　なお、今年のセミの鳴き声聞き初めは、各セミとも遅く、クマが7月3日、ニイニイ同5日、ヒグラシ同１６日、アブラ同18日でした。お天気が非常に悪かったのがその原因と思っております。セミの羽化状況はそのシーズンの気温と風、雨等の天候と密接な関係があるのは確実で、数の増減は、世界でも30年ゼミや40年ゼミがあるごとく、日本でもその一生が7年といはれるアブラや10年といはれるクマなど、その一生のサイクルをたどってみなければ仮説を立てることや推測をすることが困難ではないかとかんがえており、今は、本会の調査の健闘を見守るだけと思っております。